

高等学校 令和5年度

教科 公民

科目

公共演習Ⅰ（必履修選択）

教科： 公民

科目： 公共演習Ⅰ（必履修選択）

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組 選択者

教科担当者：

使用教科書： （ 東京書籍 公共 ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民としての自覚などを深める。

科目 公共演習Ⅰ（必履修選択）

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民としての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>第1部 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己</p> <p>【知識及び技能】 青年期の特徴と発達課題、及び個人・社会・伝統と文化の視点から人間のあり方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己形成及び社会形成に主体的に参画することの意義について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。</p>	<p>・学習内容に応じた知識の理解及び、資料の読み取りを行い、それらをもとに自らの考えを考察させ、表現・議論させる。 ・授業プリントを提出させ、学習の取組具合を確認する。 ・考查を実施し、学習内容の理解度を図る。</p> <p>教材 ・授業プリント ・teamsの利用</p>	<p>【知識・技能】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。</p>	○	○	○	6
	<p>第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方—共に生きるための倫理</p> <p>【知識及び技能】 現代の諸課題について判断し選択する際の考え方としての功利主義と幸福の原理や義務論と公正の原理を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生命倫理や環境倫理にかかわる課題について、功利主義や義務論の視点から考察し議論する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 功利主義や義務論などの考え方を活用して、現代の諸課題について主体的に追究する。</p>	<p>・学習内容に応じた知識の理解及び、資料の読み取りを行い、それらをもとに自らの考えを考察させ、表現・議論させる。 ・授業プリントを提出させ、学習の取組具合を確認する。 ・考查を実施し、学習内容の理解度を図る。</p> <p>教材 ・授業プリント ・teamsの利用</p>	<p>【知識・技能】 現代の諸課題について判断し選択する際の手掛かりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代の諸課題について判断し選択する際の手掛かりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 功利主義や義務論などの考え方を活用して、現代の諸課題について主体的に追究している。</p>	○	○	○	8
	<p>第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会</p> <p>【知識及び技能】 公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 これらなぜ公共空間の基本原則とされるのか、また、それらを実現する上での課題について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、主体的に追究する。</p>	<p>・学習内容に応じた知識の理解及び、資料の読み取りを行い、それらをもとに自らの考えを考察させ、表現・議論させる。 ・授業プリントを提出させ、学習の取組具合を確認する。 ・考查を実施し、学習内容の理解度を図る。</p> <p>教材 ・授業プリント ・teamsの利用</p>	<p>【知識・技能】 公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、主体的に追究している。</p>	○	○	○	8

